

戴帽式
令和元年5月24日

五月晴れの空のもと、第70回生の戴帽式を行いました



戴帽式とは、看護師を志す看護学生が、看護師の象徴であるナースキャップを戴く儀式です。本校では赤十字社を創設したアンリー・デュナンと近代看護の母であるナイチンゲールの誕生日にちなんで毎年5月に挙行しています。本格的な臨地実習に臨む前に、改めて看護師になるという決意と、責任の重さを自覚します。



戴帽生はナイチンゲール像から灯を受け取りキャンドルに火を灯します。この灯は看護の精神（心）を表し、その精神を受け継ぐという意味があります。先輩方が大切に育ててきた灯を絶やすことなく、さらによい灯にし、次代に引き継いでいってほしいです。



誓いの言葉

私たち70回生は、博愛の精神に基づき、患者の心に寄り添うことができる看護師を目指します。
39人全員で切磋琢磨し、共に成長することを誓います。